

# 発掘ニュース

第 22 号

平成 元年 7 月 7 日

発行 財団法人 いわき市教育文化事業団  
TEL 0246 (23) 9348

## みまやのれきし

くせはらたて ばんじょうちいせき  
—久世原館・番匠地遺跡を訪ねて—



先日、ぼくたち二人は、現在発掘調査を行なっている久世原館・番匠地遺跡へ見学に行ってきました。その時のことを報告します。

うちごうみまやまちくせはら  
この遺跡は、内郷御厩町久世原にあります。共立病院と磐城一高にはさまれた一帯が遺跡の範囲です。行き方は平駅前から内郷・湯本方面行のバスに乗り共立病院前で降ります。国道沿いを平方向にややもどり、交差点手前の駐車場と食堂の間の路地を右折したところの左前方の丘陵が現在調査を行なっている場所です。

たてあなじゅうきょ  
ここからは、縄文時代から現代までの土器・竪穴住居あと・お墓などがみつかっているそうです。

今回は、調査を行なっているおにいさんにいろいろ質問してみました。



第1図 遺跡の位置

とじておきましよう



いつごろからここに人が住むようになったのでしょうか？



今からおよそ4500年前にはすでに人々がこの地で生活していたことが、発掘調査の結果わかりました。当時の人々は、野山の動物を追い、木の実を採り、海や川で漁をして毎日の食料を得てました。



今の私たちのように、一年中食べ物があふれている時代と第2図 弥生人の姿はずいぶん違いますね。大昔の人々の生活をちょっと想像してみませんか。



ここの発掘調査ではどのようなものが見つかったのですか？



じょうもんどき やよいどき はじき すえき はじしつどき どうき じき しつき  
縄文土器や弥生土器、土師器、須恵器、土師質土器、陶器、磁器、漆器などと呼ばれている  
大昔から今日までの食器類がたくさん見つ



ています。これらの食器などが各時代を知るてがかりの一つになっています。この他にやじりやおのといった石

き じゅうこつ こそん もくせいひん  
器、獣骨、古銭、木製品など数多く見つかりました。

第3図 土器と石器



住居あとは見つかっていないのですか？



今までに40棟近くの竪穴住居あとが見つかってい

ます。これらの住居あとは、山の平なところやゆるやかな斜面のところに作られていました。



第4図 竪穴住居

古いものでは1300年くらい前のものが見つかっています。しかしほとんどは、奈良時代から平安時代の住居あとです。これらのなかには、カマドがしっかり残っているものもありました。







むかしのお墓とはどんなものだったんですか？



ここからは、弥生時代（約2000年前）と古墳時代（約1400年前）のお墓が見つかっています。弥生

時代のお墓は、大きめのつぼやかめの中に骨を入れて土の中に埋めます。古墳時代のものは、板石を組み合わせて作った箱式石棺で、直接人間を埋葬するものです。一般には、古墳の中に埋まっているものです。



第5図 弥生時代のお墓（土器棺）



第6図 古墳時代のお墓（箱式石棺）



ここに住んでいた昔の人たちは、どんな暮らしをしていたと考えられますか？

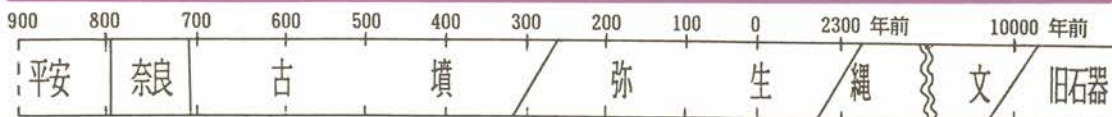


ここには、縄文時代（約4500年前）から人が住んでいたことが分かっています。当時の人々は、地面に3～4mの丸い穴を掘って、屋根をつけただけの竪穴式住居に住んでいました。家の中は、中央に炉があります。この炉は、山や川などでとってきた食べ物を煮たり、冬は暖ぼうに、夜は灯りにといろいろな役目を持っていました。また、居間や寝所が分かっていたと考えられます。また、家を中心として、土器や石器の道具を作ったりして楽しく暮していたと考えられます。また弥生時代（約2000年前）になると米づくりが伝わります。ここからも当時の田んぼが見つかります。きっと村中総出で作業して食料を獲っていたのでしょう。

下のイラストは、弥生人のようすです。米をつくる人、米をつく人、土器をつくる人、狩りをする人といろいろな仕事があります。



第7図 弥生人の仕事





お城のあとと聞いてきたのですが、どのへんにお城があったのですか？



お城というと、会津若松の鶴ヶ城みたいになりっぱな天守閣をもったお城を思いうかべるかもしれませんが、久世原館は、城あとといっても鶴ヶ城などより

もう少し古い形の山城といわれているものです。中世（鎌倉時代～室町時代）の城あとの形を今によく伝えているとい

えます。大がかりな土木工事をおこない、頂上や斜面などに曲輪と呼ばれる平場を作ります。平場には建物をたてたり、柵をめぐらしたりします。また堀を作ったり土を盛るなどして敵の侵入に備えました。



よろいをきた男の子  
第8図



発掘されたものはこれからどうするのですか？



発掘調査によって見つかった遺物は、整理作業を専門にする場所へ運ばれていきます。そこ



第9図 文化センター

で水洗いなどをおこない、観察・研究・記録を取り、報告書として一冊の本にまとめられます。また、これまでに市内で発掘された土器などの一部は、いわき市文化センター1階の科学展示室で見ることができます。



いかがでしたか？みまやの大昔の人々の生活ぶりを少しは想像できたでしょうか。だれですか、勉強しないですむから、縄文時代のほうがよかったなんてと、いっているのは。ハイッ僕です。これで第1回目は終了です。ニュースを読んだ感想を聞かせて下さい。

### お知らせ

今後、7月31日までの予定で久世原館は発掘調査を行なっています。くわしくは、現地事務所 ☎ 27-7220 または、事業団事務局 ☎ 23-9348 まで